



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年10月①
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆精進怠りなく

今月の塔婆裏文は「時時勤払拭」。
“じじにつとめてふっしきす”と読み下します。中
国の神秀^{じんしゅう}禪師の言葉で、六祖壇鏡^{ろくそだんぎょう}とい
う書に残されているものです。

字句通りに読むと、いつも勤めてきれ
いにしなさいとなりますが、元の詩句を
読むとその教えが伝わってきます。

時時勤払拭

身是菩提樹 心如明鏡台
時々勤払拭 莫使惹塵埃
私たちは本来仏の心が備わ
っているが、常に鏡を磨くよ
うにつとめないでと煩惱にま
みれてしまう。

先月は雨または曇天の日が続きました。今月は
秋晴れの空も楽しみたいと思います。「〇〇の秋」
といえます。様々な内容が思い浮かびますが、あな
たはまず何を〇〇に入れますか。

参道下には次のように掲示しました。

いつもの街なのに
いつもとちがう
街みたい。
本を読んだら、
あたらしい物事が
気になりだしたんだ。
世界が広がる本
よまにや



「読書の秋」これもいいですね。

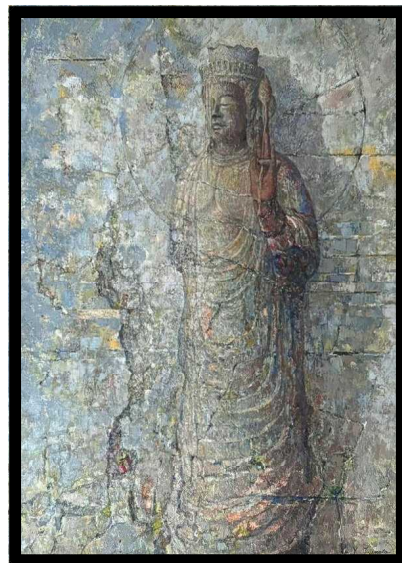
◆寺宝が一つ増えました

山の岩壁から直接彫りだされた石仏を磨崖仏^{まがいぶつ}と
いいます。全国にあるものの半数は大分県に存在
し、特に臼杵市には大小あわせて61躯あり、そのす
べてが国宝に指定されています。

この地は阿蘇山の火砕流^{かさいりゅう}が溶結した凝灰岩^{ぎょうかいがん}の
山です。平安時代後期造立のものが多くと推定さ
れ、千年以上の年数が経っています。岩肌の風化
や剥落が顕著というものの、風雨にさらされながら
今に残るお姿は独特の美しさを保っています。

このたび、その一躯である観音菩薩像を題材に
100号の絵画制作にあたられた藤本雄二さん(大東
町南本町)の作品
を当山に納めてい
ただきました。

永く大切にしてい
きます。お参りの
時、どうぞ見上げ
てみてください。



額装時

高さ約180cm

幅約145cm



本堂に入り左奥の部屋の壁です